

[抄録様式]

<p>財団法人 8020 推進財団 平成 20 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録</p>
<p>1. 事業名：フッ化物応用歯科保健対策事業</p>
<p>2. 申請者名：社団法人 大分県歯科医師会 会長 丸尾道彦</p>
<p>3. 実施組織：社団法人 大分県歯科医師会、大分県</p>
<p>4. 事業の概要：</p> <p>近年、全国的にフッ素洗口が保育園、幼稚園～小・中学校に到るまで行われている。しかし大分県においては、特に小中学校への導入が全国一遅れている。また、12歳児の一人平均むし歯数は全国ワースト2位という現状である。そこで、このフッ素の効果そして安全性を明らかにし、フッ素に対する理解を深めていただき、フッ素を上手に利用してむし歯予防に取り組んでいただくことを目的にモデル的なフッ素洗口の実施、研修会ならびに普及リーフレットの作成などを企画した。</p>
<p>5. 事業の内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. フッ素について正しい理解を広めるための、歯科保健関係者・県民を対象とした市民公開講座・むし歯予防全国大会の開催</li><li>2. 幼稚園・保育園を対象としたモデル的なフッ化物洗口の実施</li><li>3. 各地域でのイベント、講演会資料としてのリーフレット等の作成</li></ol>
<p>6. 実施後の評価（今後の課題）：</p> <p>「フッ素についての正しい理解を広めるための、歯科保健関係者・県民を対象とした市民公開講座・むし歯予防全国大会の開催」では、フッ素の効果・安全性を明らかにし、フッ素に対する正しい理解を深めていただけるようフッ素を上手に利用してむし歯予防に取り組んでいただくことを目的として、講演形式で市民公開講座を開催した。</p> <p>また、上記のことに加え、NPO 法人日本むし歯予防フッ素推進会議が主催する第32回のむし歯予防全国大会を開催し、全国からの参加者ならびに大分県の歯科保健関係者や県民の皆さんとともに考える大会を開催した。両大会とも講演後に会場から質問が多数あり、予定時間を超過するほど非常に内容の濃い、有意義な大会であった。</p> <p>「幼稚園等を対象としたモデル的なフッ化物洗口の実施」では、フッ化物洗口モデル事業と称し、県下の幼稚園（保育園）を選定し、現場の職員や保護者の理解を得るため、何度も説明会を開催しながら、予定通りに実施した。</p> <p>「フッ化物を利用したむし歯予防の普及啓発」では、以前作成したリーフレットの簡易版パンフレットを作成、配布し、より一層の普及啓発を図ることができた。</p> <p>大分県では、乳幼児期におけるむし歯の罹患率が全国平均よりも高く、平成19年度の3歳児の一人平均むし歯本数では全国ワースト1、12歳児においては5年連続全国ワースト2位であり、またフッ化物応用に対する認識が低いため、今後もこのフッ化物応用事業を継続していくことが非常に重要になってくるものと思われる。</p>

